

平成 29 年度 第 2 回環境マネジメントシステム改善委員会議事録

日 時 : 平成 29 年 7 月 31 日(月) 10:30~11:35
場 所 : 本部棟 5 階 大会議室
出席者 : 松浦 晃幸委員長, 巢山 弘介, 大橋 泰夫, 塚田 真也, 佐藤 鮎美,
中務 明, 田中 秀和, 岩瀬 峰代, 塩田 芳夫, 中村 浩之, 鈴木 修二,
川尻 秀行, 周藤 義男, 横山 龍巳, 小松 茜
欠席者 : 小池 誠, 桜井 浩, 小泉 祥子
陪 席 : 金本 瞳, 青戸 準
事 務 : 渡部博之, 百合澤 彰, 安立 陽子, 小澤 崇良, 上野 和将, 木村千寿子

委員会に先立ち、委員長より今年度の松江キャンパス環境マネジメントシステム改善委員会委員について、名簿により確認が行われ、4 月以降、委員の交代（松江市 山内 政司氏から桜井 浩氏へ交代）があった旨の報告があった。

確認事項 :

○平成 29 年度第 2 回 EMS 改善委員会議事録の確認

委員長より、事務から予め送付していた議事録（案）について、25 日までに特に意見等はなかった。改めて意見の有無について確認したが、特に意見はなく原案どおり議事録を確定した。

議 題 :

1. 平成 28 年度における各部局等実施内容等報告書に基づく評価結果原案について

委員長より、各部局等から平成 28 年度に取り組んだ活動に対する報告書の提出があり、内容について専門委員会で確認し、評価原案を作成した旨の説明があった。

評価結果原案について、巢山専門委員会委員長より、昨年度までは各部局ごとに担当して評価結果原案を作成していたが、今年度は各分野（環境教育・環境研究・エネルギー・生活系・実験系・キャンパス・アメニティ）で担当を振り分け、評価結果原案を作成した。今年度は報告書も昨年度のマネジメントレビューの学長意見を反映した様式に変更した。

評価結果原案について、巢山専門委員会委員長より、評価の考え方として、活動の成果ではなく、項目ごとに P-D-C-A サイクルが回っているかどうか、翌年度へのイメージがあるかを判断基準としたこと、この評価結果原案が部局に対して拘束力を持つものではない旨を述べられた後、資料に基づき評価内容の説明がされた。

また、専門委員会の際に大学の中期目標・中期計画に係る大きな P D C A とは別に EMS 独自の P D C A を回しているが、両者の連携や融合も模索しつつ、環境に係る各部局等の優れた取組や自己評価が大きな P D C A にも活かすことができないかとの意見があった旨の報告がされた。

審議の結果、原案のとおり承認された。

委員長より、本来であれば各部局等実施内容等報告書が 4 月 15 日提出締切だったた

め、5月末日に各部局へ評価結果を通知しなければならないが、報告書の全ての提出を終えたのが6月28日であり、大幅に予定が遅れているため、本委員会です承後、速やかに各部局へ通知を行う旨説明された。また、EMSについて全学への周知が浸透していない部分もあり、中期目標にも「安全かつ快適なキャンパスの環境を整備する」とあり、ほかにも環境に関連する項目もある。EMSの取組について今後の年度計画のなかにも取り込んでいけるようにしたい旨の発言があった。

2. 「環境報告書 2017」の作成について

委員長より、現在の進捗状況について資料に基づき説明を行った。

トピックスについては、事務局から「正門、駐輪場、自転車・歩行者専用道路の整備」「学生EMS委員会の活躍」について提案した。また、この他に候補があれば提案いただきたい旨述べられたが、特に提案がなかったため、事務局の提案のとおり承認された。

また、「第三者からの評価」について、本年度は以前本学にも在籍され、EMS活動にも携わっておられた国立研究開発法人森林総合研究所の山本伸幸氏を提案され、異議なく承認された。

報告事項 :

1. 夏季節電計画に基づく空調フィルター清掃の確認について

委員長より既に夏季の節電計画について取り組んでいただいているところだが、具体的な取組としてエアコンのフィルター清掃が比較的効果的かつ取り組みやすいことから、この清掃確認について資料に示した確認表を用いて10月31日までに事務局へ報告していただくよう発言があった。

委員より研究室に取り付けられているものについては、取り替えられないフィルター（ヘパフィルター）がある。部局の全体空調で占めている割合も大きいので全学としてどのように対応していただけるものなのかとの質問があった。エネルギー管理員より経費の関係もあるので、持ち帰って検討したい旨発言があった。

委員長より確認の対象となるエアコン（簡易にフィルター清掃ができる機種）とするなど、具体的なものを明確に通知する際に示すようにする旨発言があった。

委員より共通の講義室等についてはだれが清掃を行うのかという質問があった。委員長より学部の講義室については学部事務で対応をお願いしたい。全学共通の講義室等については本部で対応する旨説明された。これも併せて通知する際に盛り込み、また、学部等事務が周知、照会をかけやすいような文言に修正したものを通知する。報告は学部等事務を通じて報告をしていただきたい旨発言があった。

また、委員より要望として、点検結果が次回生かせるようにしていただきたいとの提案があった。

2. 平成29年度各部局等の活動計画について

委員長より、本年度の各部局等のEMS実施内容（計画）が提出されたので、一覧にまとめた旨が述べられた。計画された内容について取り組んでいただくよう説明がされた。なお、変更があれば、事務局へ報告していただくよう依頼があった。

3. 学生 EMS 委員会委員の委嘱について

委員長より、本年度の学生 EMS 委員会委員は、資料のとおり活動の意思表示をした 18 名の学生に委嘱することが述べられた。このうち、5 名について委嘱状の交付式を去る 6 月 5 日に行い、他の 13 名については、後日学生 EMS 委員を通じて委嘱状を交付した旨の説明がされた。

4. 学生 EMS 委員会の活動計画について

委員長より、本年度の学生 EMS 委員会の活動計画について、学生委員より説明いただくと述べられた。

学生委員より昨年度に引き続き「緑のカーテン」及び今年度より取り組んでいる「リサイクルステーションの回収ペットボトル分別改善」の企画について、資料に基づき、報告があった。

また、このほか、松江市環境フェスティバルへの出展、しまね大交流会への出展及び 3 月に放置自転車の撤去を実施することも報告があった。

委員より、ペットボトルの分別はきちんと分別されたものばかりだと心理的に分別できていないものは入れずらい。全てを分別するのは大変なので、そのような方法をとってみてはどうかとの意見があった。また、キャップを福祉貢献できるようなこともあるのでそのような情報収集をしてみてもどうかとの意見があった。

5. その他

- ・委員より放置自転車について、収集後、どうされているのか質問があった。

事務局より、盗難車の有無を確認し、回収から 3 ヶ月経過した後廃棄処分とし、現在は鉄くずとして売り払ってはいない旨説明した。

- ・委員より、放置バイクについて長年放置してあるバイクもあるが、その処分についての質問があった。

事務局より、以前、市役所へ車両ナンバー等により所有者の照会をしたが、個人情報のため教えてもらえなかったため、現在は処分もままならない状況である旨説明した。